



ボタンの機能

	メニューモード使用時：上下の矢印で、メニューを切り替えます。右矢印で選択・決定、左矢印で一つ前の画面に戻ります。 ホーム画面使用時*：左右の矢印で、フレックスウィンドウを選択します。上下の矢印で、任意の測定項目を選択します。
	音量を + ボタンで大きく、- ボタンで小さくします。このボタンは音量専用でどの画面を表示していても音量を操作できます。
	漕ぎ始める前にこのボタンを押すと「Ready」モードになり、漕ぎ始めるとタイマーが動き出します。「Reset」が表示されるまで長押しすると、タイマーがリセットされ、セッションが保存されます。
	このボタンを押すとすぐにホーム画面（Rowingスクリーン）に戻ります。
	シートディスプレイの設定画面になります。[現在未搭載・今後リリース予定]
	シートディスプレイ画面になります。[現在未搭載・今後リリース予定]
	メインメニューを表示します。長押しで電源のON・OFFができます。（電源のOFFはホーム画面時のみ機能します。）

ホーム画面のアイコン

- GPSインジケータ：使い始める前に屋外で本体の電源をオンにし、このアイコンが白から黒に変わることを確認してください。黒の場合、本体が十分にGPS信号をキャッチしていることを示します。
- インペラーモードでインペラーに接続されていることを示しています。スピードと距離はインペラーを用いて対水速度が計測されます。[現在未搭載・今後リリース予定]
- 電池残量表示。1本が約20%の容量を示しています。
- スマートフォン接続し、Live Streamingを行っている状態です。
- モバイルデバイスとペアリングはできていますが、モバイルデバイスが圏外等の理由で、Live Streamingが停止している状態です。

ライブストリーミング*

“Live Stream”はCOXBOXのデータをクラウドにアップロードし、クルー外のスタッフが他のデバイスを使いリアルタイムでデータを確認することができる機能です。ライブストリーミングを行うためには、通信環境にあるスマートフォンを常にCOXBOXとペアリングできる距離に置いておく必要があります。防水ケースに入れるなどして艇内に持ち込んでください。

[スマートフォンの操作]

- 「NK LiNK Logbook」アプリをスマートフォンにダウンロードします。
- 通信圏内にあり、Bluetoothが有効になっていることを確認してください。
- NK LiNK Logbook アプリを開き、初期設定をした後、Streamタブを選択します。
- 任意のBoat IDを入力し、“Streaming”をOnにします。
- “Pair”をタップし、ペアリングモードに入ります。

[COXBOXの操作]

- COXBOXのメインメニューから、Live Stream → Live Streamingを選択し、ONにします。
- Phone Pairing → Find Newを選択すると、ペアリングモードになり、COXBOXとスマートフォンが接続されます。
- ペアリングされている状態で、ホーム画面に戻ると上部に が表示されます。スマートフォンはCOXBOXの近くに置いたままトレーニングを開始してください。

[データの表示]

- リアルタイムデータはWebまたはアプリ上で見ることができます。通信環境下にあるパソコンまたはスマートフォンで、次のURL（<http://logbook.nksports.com/>）またはNK LiNK Logbookアプリを開き、「Live」の画面で確認することができます。



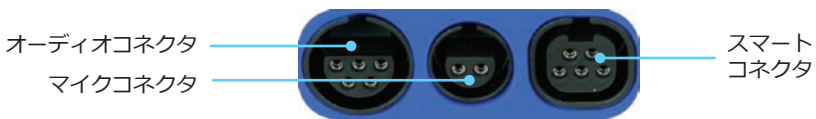
- COXはLiNK LogbookアプリのStreamタブから、COXBOX GPSとスマートフォンをペアリングします。
- COXはスマートフォンを防水バックなどに入れ、COXBOX GPSと一緒に艇内に持ち込みます。
- COXBOX GPSで得たデータは、スマートフォンを通じてクラウドに随時アップロードされます。

※別紙、LiNK Logbookの説明書もご参考ください。

- コーチは自分のスマートフォンでLiNK LogbookアプリのLiveタブを開きます。
- 地図で水域を表示し、見たいクルーのDetailsをタップします。
- クルーとコーチの距離は無制限です。それぞれがセルラーまたはWifiの通信圏内である限り、世界中のどこからでもリアルタイムでデータをストリーミングできます。

インストール手順

- CoxBox Core/GPS は、既存のケーブル、スピーカー、バッテリーチャージャー、カップブラケットと互換性があります。レートセンサーが不要なので、ケーブルRとマグネットは取り外して構いません。ただし、旧モデルのCOXBOXも並行して使用している場合は、そのままつけておいても問題ありません。
- ケーブルA（またはA+）をオーディオコネクタに確実に接続します。複数のスピーカーを使用する場合は、ケーブルLMをケーブルA（またはA+）の端に接続します。
- マイクR2をマイクコネクタに接続すると、インストールが完了します。
- ケーブルの損傷を防ぐため、脱着はまっすぐ行い、決して振じらないようにして下さい。



クイックスタートガイド

- 電源ON・OFFボタン を長押しし、電源をつけます。
- 矢印キーで、フレックスフィールドに表示する値を変えることができます。*
- ボタンを押し、Readyモードにします。「Ready」は画面の中心部に表示されます。
- 最初のストロークを感知すると、タイマーと記録が開始されます。
- 必要であれば、 ボタンを押すと、タイマーが停止します。再度このボタンを押すとタイマーが再開されます。
- ボタンを「Reset」が現れるまで長押しすると、セッションはメモリに保存され、データがリセットされます。*
- 電源ON・OFFボタン を「Turn Off」が表示されるまで長押しすると、電源が切れます。（オフにすると、セッションも保存されます。*）

メモリ*

本体のメモリに保存できるのは合計で約25時間分です。本体が作動している間のすべてのストロークのデータが保存され、本体では100m毎に確認ができます。速度の入力方法や単位は、漕いだときと同じように表示されますが、インポートした後はGPS・インペラー両方のデータを確認できます。

メモリストレージ

メモリが容量いっぱいになると、データの保存がされなくなります。メモリ使用量が100%に近くなったら、下記の手順ですべてのメモリを消去してください。メモリの使用量は、リコール画面の下部に表示されます。また、100%に近づくと、画面にアラートメッセージが表示されます。

保存されたデータの呼び出し

Main MenuからData Recallを選択すると、保存されたデータを確認することができます。メモリはセッションごとに表示されています。（左側に日時、右側にトレーニングメニュー）右側はメニューを設定せずに漕いだ場合は、“JustGo-距離”、Workoutでメニューを設定した場合は、そのメニューの内容が表示されています。

[注意]各セッションは、下記の時点で完了し保存されます。Just Rowモード：カウンターをResetする。Workoutモード：メニューを完了、またはキャンセルする。

セッションの詳細を見る

セッションを選択すると、セッションの概要が表示されます (Fig 1)。ここでは、セッション全体の距離・時間・平均速度・平均レートなどが確認できます。セッションの概要からDETAILSを選択すると、セッションの詳細が表示されます (Fig 2)。ここでは、一定の時間または距離ごとの内訳が表示されます。右上のMOREを選択すると、ストローク数などの別の測定値を表示することができます。

データの削除

Data Recall画面で、「Clear Memory Erase All Data」を選択すると、すべてのデータが消去されます。セッションは個別に削除することはできません。

DATA LINK[™] *

Data LiNKは、COXBOXとモバイルデバイスを接続し、セッションデータをクラウドにアップロードすることができる機能です。（COXBOX GPSのみ）

- モバイルデバイスに『LiNK Logbook』アプリをインストールします。
<https://nksports.com/link-logbook>
- モバイルデバイスのBluetoothをオンにします。アプリを開き、アカウントでログインします。アカウントがない場合は、新規作成をしてください。
- アプリでWorkout Log画面を開き、右上のImportアイコン（雲に矢印）をタップします。
- CoxBox GPSで、Main MenuからData LiNKを選択します。
- アプリの画面に接続可能な本体が表示されますので、該当のCOXBOXを選択し、データの転送を開始します。
- データのアップロードが完了した後、カレンダーの日付を選択すると、確認したいセッションのデータが表示されます。

RECALL MENU		SELECT
Delete All Session Data?		
Mar 10 06:15a	JustGo-3050M	
Mar 10 06:00a	4x5:00/2:00	
Mar 09 06:27a	5x5:00/10:00	
Mar 06 03:24a	2(6:00,3:00,10:00M	
Mar 01 06:17p	8x1000M/3:00	
		EXIT

Fig1:セッション概要

JustGo-3050M		SELECT
DIST	TIME	SPLIT
3050M	15:36.0	01:57.0
		RATE
		28.7
		EXIT

Fig2:セッション詳細

JustGo-3050M		MORE
DIST	TIME	/500M
200M	1:06	01:57.0
300M	1:40	01:59.0
400M	2:11	02:03.0
500M	2:45	02:00.0
600M	3:14	02:03.0
		EXIT

PREV	NEXT	MORE	
DIST	TIME	HR	D/ST
200M	1:06	96	8.1M
300M	1:40	92	7.9M
400M	2:11	97	7.7M
500M	2:45	95	8.2M
600M	3:14	98	8.6M
		EXIT	

SETUP...

Speed/Distance Setup*

スピードの表示方法を選択します。Speedモードではスピードを、Splitモードでは500mのペースを画面に表示します。（表示場所は矢印ボタンで任意の場所に設定できます。）スピードと距離の表示単位はUnitの項目で変更できます。選択肢は①M,M/S,/500M、②KM,KMH,/500M、③MI,MPH,/MIの3種類です。

Auto Pause

Auto PauseをONにすると、ストロークの最後の1本から6秒後にタイマーが自動で停止します。OFFにすると、ストロークが感知されなくてもタイマーは停まりません。タイマーの停止・再開は  ボタンを押して手動で行います。

※WorkoutのRestを設定している場合、Auto PauseがONでもタイマーは自動停止しません。

注意：Average Speed（平均速度）は経過時間と距離から計算されて表示されます。従って、Auto PauseがOFFになり、ポートが止まっている間もタイマーが動き続けると、平均速度に影響を与えます。

Auto Shutdown

Auto Shutdownが10minに設定されている場合、ストロークを感知せずに10分間経つと、本体は自動的に電源が切れます。OFFになっている場合は自動では切れず、  ボタンの長押しで電源を切ります。

ADVANCED...

GPS Spd Smoothing, Strokes*

スピードにおいて、何本のストロークの平均を表示するかを設定します。例えば「2」に設定した場合、常に最新の2本のストロークの速度を平均し、Speed/Splitとして表示します。数値を小さくするとスピード表示は頻繁に変わり、数値を大きくすると安定した表示となります。

Stroke Rate Setup

Timer Start Acceleration、Noise Filtering、Axisの設定をします。

Timer Start Acceleration

ストロークを感知するための加速度センサーの感度を設定します。デフォルト値は4です。数値を大きくすると、感度が低く大きな力が必要になり、数値を小さくすると感度が高く、小さな力でストロークを感知するようになります。

Noise Filtering

ストロークの変化を感知するための加速度センサーの感度を設定します。デフォルト値は3です。数値を大きくすると、大きな加速度変化が必要になり、数値を小さくすると小さな加速度変化でストロークを感知するようになります。

Axis

センサーの軸をFront-Back (2軸)または Any (3軸)のどちらにするかを選択します。ポートの長軸に対して垂直に設置する場合はFront-Back (2軸)を一般的に推奨します。ポートの長軸に対して斜めに設置するような場合にはAny (3軸)に切り替えてください。

Time and Date

日時の表示フォーマットを設定します。Time Formatで12時間表示または24時間表示、Date Formatで月 (MM)／日 (DD)／年 (YYYY)または日 (DD)／月 (MM)／年 (YYYY)のいずれかを選択します。時刻はGPSから自動で取得しますので、Time Zoneでお使いになる地域を選択してください。日本国内の場合は (UTC +9:00)TOKYOを選択します。Daylight SavingsはNOにし、サマータイムを使用する場合にのみ、YESを選択してください。

Diagnostics

この画面では、バッテリー・加速度センサー・GPS受信機・音声などのシステムの動作状況を表示しています。この情報は不具合が起こった時の診断に役立ちます。

Factory Restore

すべての設定をリセットし、初期設定に戻します。保存されたすべてのセッションは消去されますが、オドメーターの値はリセットされません。※オドメーターはMain Menu→Odometerで確認ができます。1日、1週間、1ヵ月、1年、使い初めてから現在まで、の総漕距離が表示されます。

メンテナンス

本体を最適な状態に保つため、下記に示すステップで定期的にメンテナンスを行ってください。

[必要な道具] アルコール
NKメンテナンスキット（金属ブラシ、パイプクリーナー、綿棒、ナイオジェル）



1. アルコールでコネクターの内部を拭きます。



2. 金属ブラシをソケット部分に数回挿入し、内部の埃やゴミを細かく砕き、かき出しやすくします。



3. 続いて、パイプクリーナーをソケットに数回挿入し、余分なアルコールや細かなゴミを取り除きます。



4. ナイオジェルをそれぞれのソケットの中に注入します。少しの量で問題ありませんので、溢れ出ないように注意してください。



5. 綿棒を使い、コネクタのラバー部分にもナイオジェルを塗布します。プラスチックの部分に塗る必要はありません。



6. メンテナンスの後、スマートコネクタを使用しない場合は、スマートコネクタキャップを被せてください。



スマートコネクタを使用していない時は、常にキャップを装着するようにしてください。水によってソケットが腐食するのを防ぎます。

WORKOUTS *

Run Last Workout: 最後に行ったワークアウトを繰り返します。これは、インターバルを設定せず、単一の距離や時間を繰り返す際の一番簡単な方法です。▶で選択します。

注：を押すとReadyモードになり、ストロークの最初の1本を感知することでワークアウトがスタートします。をもう一度押すと一旦停止、長押しするとキャンセルとなります。

Single Distance: 距離をベースにしたワークアウトを設定します。▶を押し、距離の部分が反転したら、▲▼で必要な距離に合わせます。▶を2回押して、ワークアウトを開始します。

Single Time: 時間をベースにしたワークアウトを設定します。▶を押し、時間の部分が反転したら、▲▼で必要な時間に合わせます。▶を2回押して、ワークアウトを開始します。’

Intervals...

この項目では、時間・距離・レストを含めたインターバルワークアウトを設定します。最大6つのワークアウトが保存できるので、そこから選択するか、新しく編集してワークアウトを始めます。出荷時には6つのサンプルが既に登録されています。

注：ワークアウトの名前は、インターバルの内容から自動的に生成されます。

インターバルワークアウトを編集する

一覧から編集するワークアウトを選択します。ワークアウトの内容が表示されますので、変更する項目を ▲▼で選択します。▶で変更箇所を反転させ、▲▼で任意の値に変更します。編集後はワークアウトを開始するか、◀を押してワークアウト一覧画面まで戻ると自動的に保存されます。

Countdown: ONの時、最初のストロークを感知するとカウントダウンが始まります。カウントダウンが0に達すると、ワークアウトがスタートします。カウントダウンは10～60秒まで、10秒単位で設定できます。OFFにした場合は、最初のストロークからワークアウトがスタートします。※カウントダウンは、レースペースに達した状態で、ワークアウトを始める必要がある場合に有効です。

Intervals: インターバルの種類とセット数を設定します。「Equal」では、すべてのインターバルで同じWorkとRestを繰り返します。(例：1分ON-1分OFF×10)「Variable」では、それぞれのインターバルで異なるWorkとRestを設定することができます。(例：1000mON-2分OFF-500mON-1分OFF-250mON)

Work: インターバルのワークを設定します。「Time」は時間ベース、「Dist」は距離ベースになります。一番右の欄にはその値を設定します。

※インターバルの種類が「Variable」の場合は、番号が付加されます。例:Work1、Work2...

Rest: ワークの間のレストを設定します。「Time」は時間ベース、「Dist」は距離ベースのレストになります。一番右の欄にその値を設定します。

※インターバルの種類が「Variable」の場合は、番号が付加されます。例:Rest1、Rest2...

Number of Sets: インターバルのセット数（何度繰り返すか）を設定します。3セットを1回のトレーニングとする場合は3に設定します。(例：1分ON-1分OFF×10 ×3セット)

Rest Between Sets: セット間のレストタイムを設定します。「Number of Sets」が2以上の場合のみ、表示されます。(例：1分ON-1分OFF×10 ×3セット セット間レスト5分)

バッテリーの使用と充電

バッテリーは、バックライト・Bluetooth・その他アクセサリの使用状況によりますが、満充電で約10時間作動します。電池マークのバー1本  で20%の充電量、約2～2.5時間の作動時間があることを示しています。

本体を充電する時は、従来のCOXBOXの充電器を使用することができます。半円形のオーディオコネクタに差し込んで使用します。

また、COXBOX GPSおよびCOXBOX CoreではEspresso™ charger（急速充電器）も使用することができます、ノーマルの充電器の1/3の速さで充電ができます。Espresso™ chargerは四角形のスマートコネクタに差し込んで使用します。

本体が充電中は電源がついた状態になり、電池マークが点滅します。点滅が止まれば充電が完了したことを示します。

完全に放電したバッテリーを充電するにはノーマル充電器で約12時間、急速充電器で約4時間です。もし、バッテリー切れになった場合、急速充電器で約15分の充電をすれば約1時間使用できます。

COXBOXは必ずNK製の充電器で充電してください。未承認またはサードパーティー製の充電器は使用しないでください。

仕様

ディスプレイ	日光下でも読み取りやすいハイコントラストモノクロLCD 解像度400×240
ディスプレイサイズ	92 x 67 x 31 mm
バッテリー	2600mAh LiPolyマルチセル式充電電池
充電容量	満充電で約10時間
バッテリー寿命	2 ～ 5 年 （工場にて交換可）
充電時間	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ充電器: 約8.5時間 急速充電器:約3.5時間
サイズ	8.1 x 11.2 cm （従来のカップブラケット使用可）
重量	約635g
防水性能	Waterproof IP67, NEMA-6
浮力	浮力あり
計測項目	音声、ストロークレート（コードレス）、経過時間、スピード*メモリー*、日付*、DPS*、瞬間速度* など
保証期間	2年
環境	COXBOX GPSはRoHS（有害物質の削減）に準拠しており、WE EE（廃電気電子機器）指令に従ってマークされています。家庭用廃棄物に捨てず、リサイクルセンターにお問い合わせください。
GPS精度*	速度: +/- 0.1 m/s; 距離: +/- 2.5 m



リチウムイオン電池使用に関するご注意

このCOXBOXにはリチウムイオンバッテリーを使用しており、0°以下45℃以上の状況下で充電をすると、充電が停止する安全装置が装備されています。リチウムイオン電池には可燃性の液体電解質が含まれており、高温にさらされたり、損傷したり、過充電されたりすると、発火する可能性があります。発火してしまうと、バッテリーはフレア効果で急速に燃え、フッ化水素ガスを含む刺激性の有毒ガスを生成し、めまいや窒息を引き起します。また、バッテリーの電解液には皮膚、目、粘膜を刺激する可能性がありますので決して触らないでください。

- 火の中、または60℃以上になる場所に置かないでください。炎天下の車中は高温になり、この温度を超える恐れがあります。充分にご注意ください。
- 45℃以上の場所で、使用・保管・運搬をしないでください。
- 0℃以下の場所で充電しないでください。本体に穴を開けたり、分解をしないでください。
- 万が一、内部のバッテリーが破損してしまった場合、バッテリー電解液に触れないでください。電解液は皮膚、目、および粘膜を刺激する可能性があります。万が一、バッテリーが発火した場合は、発生した煙を吸い込まないようにし、ただちにその場所から避難してください。可能であれば、バッテリーを砂で覆うか、ABC粉末消火器を使用してください。破損、浸水、充電エラーの表示されるCOXBOXを使用し続けしないでください。